## 事務事業実績測定調書

R4調書番号 643

7. 352 7. 5145 4.1560	·· / C M·· / C										
事務事業名称	水質検査業務										
測定年度	2022(R4)年度		部		二下水道	邹	課		浄ス	<b></b>	
市長公約との関係	所信表明	市政	文運営方針	R2		R3		R4		R5	
	基本目標	5. É	然と共生	し、美し	ハ環境を	守り育てる	るまち				
総合計画体系施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1 事務事業の概要

<u>  1. 事務事業の</u> 作	<b>兆女</b>										
種類	市民サービス	特性		非選択的事	業	区分	非	選択的事務事業			
事業期間	1932 (S07) 在	F度	年度	~				年度まで			
根拠法令等	水道法		-								
関係補助金名称			サンセット								
関係附属機関名称											
	メインターゲット	水道を利用し	k道を利用している市民								
車業が免	サブターゲット	水道を利用し	ている事	業者							
事業対象 ターゲットが抱える課題 平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供要がある。											
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	  水質検査計画に基づ 	く水道水の水	質検査が	行われ、安全・	安心な水流	道水が安定側	供給され	1ている状態。			
事業概要	確保するためには状え 道水質の定期及び臨 頻度を定めた水質検え 利用いただけるよう、糸 果の周知を行う。水質	者にとって、安全かつ清浄な水の供給を確保することは、最も基本的な義務であり、これを常時ためには状況に即応した水質管理が不可欠である。このため、水道法第20条第1項に基づき、水定期及び臨時の水質検査を水道事業者に義務づけている。このことから、具体的な検査項目やめた水質検査計画を毎年度策定し、計画的・継続的な水質検査を行う。また、安心して水道水をだけるよう、結果は年報として取りまとめ、ホームページや行政資料コーナー等を利用して検査結を行う。水質検査結果の信頼性を確保するため、平成26年度からこれまで実施してきた第三者用した品質保証システムである水道GLPのノウハウを活かした自主運営型GLPにより、水質検査理を行う。									

					トカム ]効果)			アウト (活動	プット 結果)			イン : (活	プット 動)	
ロジックモデル										水質検査計画に基づく水道水の 水質検査を行う。				
指		指標説明						:水質基	浄水場浄 i合率。 準適合件 件数×10	·水にお 数/水 00】	水質検査	くにおける		準項目
指標設									単位	%			単位	件
設		指標種類					増加す	ることが!	良いとされ	る指標	増加す	ることが!	良いとされ	る指標
定	指						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数	目標 (見込み)					100	100	100	100	100	1,460	1,460	1,460
	値	実績					100	100	100		100	1,460	1,460	
		達成度						10	0%			10	0%	

3. 人員体制	(人)
	R4実績
正職員	2. 90
再任用	1. 10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

決算額 4 (千円)

<b>T</b> .	<b>/</b> 八升····································					(     1)
		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	31, 900	31, 162	28, 193		
	人 会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
成出	費 附属機関委員	0	0	0		
ш	人件費計	31, 900	31, 162	28, 193		
	物件費計	6, 247	23, 657	5, 550	7, 500	74. 0%
	歳出計	38, 147	54, 819	33, 743		
	国庫支出金	0	0	0		※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	6, 247	23, 657	5, 550	7, 500	す。

# 5. 総括的分析

総括的分析

水道水の安全性を確保するため、2022年度の水質検査計画を事業年度開始前に策定・公表し、検査計画に従い水質検査業務を実施した。水質検査結果は、全ての項目で年間を通じて水道法が要求する水質基準を満足し、安全安心な水道水をお客様に供給することが出来た。水質検査結果は、上下水道局ホームページで公開した。

### 今後の方向性

0. / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	1 3 1	
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	法的要求に係る水質検査を計 故対応や市民からの相談・苦情	画的継続的に実施し、水道水の安全確保に努める。また、緊急的な水源水質事情にも迅速に対応できるよう検査業務の充実を図る。

コーパン コーンドンくりかんか	~, ~										
事務事業名称	水処理送配水	業務									
測定年度	2022 (R4)	年度	部		二下水道部	-{{\bar{3}}}	課		浄水課		
市長公約との関係	所信表明	ī	市政運営方針	R2		R3		R4	F	₹5	
	基本目標	5	.自然と共生	し、美し	↑環境を₹	子り育てる	るまち				
総合計画体系	2	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名	,									

1. 事務事業の概	既要										
種類	市民サービス	特性		選扔	?的事業	区分	-	一般事務事業			
事業期間	不明		年度	~				年度まで			
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称					サンセット		~				
関係附属機関名称											
	メインターゲット	水道を利用してい	水道を利用している市民								
事業対象	サブターゲット	水道を利用してい	いる事業	者							
<b>学术</b> /13/	ターゲットが抱える課題	平時は当然なが 要がある。	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されてV 要がある。								
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全水道施設の監視・点 態。	<b>極等を通じた常</b>	時安定遺	巨転に.	より、安全・安	心な水道水が安気	定供約	洽されている状			
事業概要	安全で安心な水道水を安定的に供給するための水処理送配水業務 <水処理送配水業務の対象となる施設(23ヵ所)> ・中宮浄水場、高度浄水施設、磯島取水場、配水場(13ヵ所)、配水池(3ヵ所)、穂谷加圧ポンプ室、東香 里高架水槽、受水場(2ヵ所) <事業の主な内容>水道水の安定供給のため、以下の業務を行う。 ・開庁日における中宮浄水場や配水場など水道施設23ヵ所の運転業務(運転監視・施設巡回点検) ・受水場(2ヵ所)において、大阪広域水道企業団から浄水を受水 ・「浄水施設運転管理業務等委託」として、夜間・閉庁日の中宮浄水場や配水場など水道施設23ヵ所の 軍転業務委託(運転監視・施設巡回点検)、定期点検業務(設備等年次点検) ・「浄水発生土搬出運搬及び埋立処分委託」として、水処理過程において発生する汚泥の処理										

	. <u> </u>	コンソフェ	<i></i>	<u> </u>	X //C									
	アウトカム (活動効果)						アウト (活動	プット 結果)		インブット (活動)				
	ロジ	ックモデル	全•安心		ることによ 、を市民・		水道施設23ヵ所の運転により、適切に水処理を実施する。				中宮浄水場や配水場など水道施 設23ヵ所を運転する。			
指	?	指標説明	水道施記					こ対する約 2割合 1:浄水処 量×100)	理した自		日 中宮浄水場や配水場などの稼働 日数 単位 日			
標	į	指標種類	減少す	ることが且	良いとされ	る指標	増加す	ることが且	良いとされ		増加す	ることが且	良いとされ	る指標
設定	: 指	÷	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	指標数	目標(見込み)	0	0	0	0	98.50	98.50	98.50	98.50	365	365	365	366
	値	主 実績	0	0	0		99	99	99		365	365	365	
		達成度	100%				10	1%		100%				

3. 人員体制	(人)
	R4実績
正職員	3.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4 決算額 (千円)

┰.	八升识					(     1)
		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	21, 582	23, 571	23, 436		
	人会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
成出	費 附属機関委員	0	0	0		
Щ	人件費計	21, 582	23, 571	23, 436		
	物件費計	1, 123, 547	1, 130, 957	1, 292, 549	1, 715, 920	75. 3%
	歳出計	1, 145, 129	1, 154, 528	1, 315, 985		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	1, 123, 547	1, 130, 957	1, 292, 549	1, 715, 920	す。

## 5 総括的分析

総括的分析

中宮浄水場浄水施設の安全で安定した運用を行うことにより、取水量の損失を極力減少させ、、1日平均で自

取水量105,748立方メートルに対して、104,673立方メートルを浄水処理、配水し、取水量の99%を有効利用し た。

### 6. 今後の方向性

O. 1 (X 4) / J	1.217	
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	施設の経年劣化に対応した維 を最小限とするように維持管理	持管理を実施する。特に浄水場においては、老朽化による浄水処理機能の低下 を実施する。

## 事務事業実績測定調書

R4調書番号 645

ユーリン ユーントンノリンぐい	~, ~_ ~ , —	M4 E								
事務事業名称	水道施設維	道施設維持管理業務								
測定年度	2022(R4)年度		部	_	上下水道部		課	浄水課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方金	R2		R3		R4	R5	
	基本目標		5.自然と共生	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち						
総合計画体系	施策目	施策目標 26.安全で良		6.安全で良好な生活環境が確保されたまち						
	実行計画	<b>町名</b>								

1. 事務事業の構	既要									
種類	内部管理	特性	内部	部事務	区分	一般内部管理事務				
事業期間	不明	年.				年度まで				
根拠法令等	水道法、水道施設の技	支術的基準を定める名	令			·				
関係補助金名称		サンセット  ~								
関係附属機関名称										
	メインターゲット	水道を利用している								
事業対象	サブターゲット	水道を利用している	事業者							
争未刈豕	ターゲットが抱える課題	平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある。								
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全水道施設の適切な	維持管理により、安全	・安心な水	道水が安定	<b>供給されている状</b>	能。				
事業概要	安全で安心な水道水を安定的に供給するための、浄水施設(配水池を含む)の適切な維持・管理及び修繕業務。 <維持管理の対象となる水道施設(23ヵ所)> ・中宮浄水場、高度浄水施設、磯島取水場、配水場(13ヵ所)、配水池(3ヵ所)、穂谷加圧ポンプ室、東香里高架水槽、受水場(2ヵ所) <事業の主な内容> 1. 直営及び一部民間委託による管理施設の設備機器の修理・修繕を実施する。 2. 各施設の環境保全のため、民間委託による除草作業を行う。 3. 民間委託による中宮浄水場の人的・機械警備に加え、各配水場など管理施設(22ヵ所)についても機械警備を行う。									

		コンソンモル	<i>N</i>											
		アウトカム (活動効果)					プット 結果)		インプット (活動)					
	ロジ	ックモデル					水道施記させない	ひひ故障	こよる断7	水を発生	計画的に			する。
		指標説明					水道施記 水時間0		により発生		保守点核	全回数		
指	<u> </u>	16 17 47 47							単位	時間			単位	回
標		指標種類					減少す		臭いとされ	る指標	増加す	ることが!	良いとされ	
設定	指						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	標数	目標 (見込み)					0	0	0	0	2,132	2,132	2,132	2,132
	値	実績					0	0	0		2,588	2,398	2,422	
		達成度						10	00%			11	4%	

3. 人員体制	(人)
	R4実績
正職員	6. 80
再任用	0. 20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

決算額 4 (千円)

┰.	八升识					(     1)
		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	49, 722	50, 770	54, 129		
	人 会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
成 出	費 附属機関委員	0	0	0		
щ	人件費計	49, 722	50, 770	54, 129		
	物件費計	240, 883	376, 871	247, 961	253, 223	97. 9%
	歳出計	290, 605	427, 641	302, 090		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	240, 883	376, 871	247, 961	253, 223	す。

## 5 総括的分析

総括的分析

1. 浄水課管理施設の設備機器の適切な維持管理及び修理を実施した。 2. 各施設の除草(面積184,596㎡)を行った。 3. 中宮浄水場警備及び各配水場機械警備を行った。

### 6. 今後の方向性

_ 0. フタの刀	7	_
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	浄水課管理施設の維持管理に	こあたり、長期修繕計画に基づきライフサイクルコストも考慮して実施する。

## 事務事業実績測定調書

R4調書番号 646

すいい すっトンへいべい	~, ~									~ .		
事務事業名称	水道施設整	道施設整備事業										
測定年度	2022 (F	(4)年度		部	Т	:下水道:	部	課		浄水	課	
市長公約との関係	所信表明	0	市政	運営方針	R2		R3		R4		R5	
	基本目	標	5.自	然と共生	し、美し	↑環境を	守り育てる	るまち				
総合計画体系 施策目標		26.岁	で全で良り	好な生活	環境が確	<b>産保された</b>	こまち					
	実行計	画名										

1 事務事業の概要

1. 事務事業の概	<del>艾安</del>								
種類	市民サービス	特性		選	<b>火的事業</b>	区分		一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~				年度まで	
根拠法令等	水道法、水道施設の技	道法、水道施設の技術的基準を定める省令							
関係補助金名称		サンセット    ~							
関係附属機関名称							•		
	メインターゲット	水道を利用し	ている市	民					
事業対象	サブターゲット	水道を利用し							
争未刈多	ターゲットが抱える課題 要がある。 平時は当然ながら、災害時においても安全・安心な水道水が安定供給されている必要がある。								
	ターゲットが抱える課題								
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全水道施設の耐震化が図られ、安全・安心な水道水が安定供給されている状態。								
事業概要	送配水管を除く水道が	送配水管を除く水道施設の更新·改良及び耐震化を実施する。							

	アウトカム (活動効果)				アウト			インプット						
ロジックモデル			字へ- 字 いわ **								(活動) 水道施設の更新・改良及び耐震 化を実施する。			
指			水道施設を断水は	受の老朽の 特間			【算出式	)耐震化等:耐震对象 :耐震对象 多量/配水	策の施さ 、池総容量	畫×	更新•改 実施件数		対震化に依	
標		指標種類	減小す	ることが』	単位	時間	増加す	ることが且	単位 まいとされ	% ス指煙	増加す	スニレがE	単位    もいとされ	件 ろ指煙
設		101小1主人	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
定	指標数	目標 (見込み)	0	0	0	0	58.60	58.60	71	71	100	7	8	9
	値	実績	0	0	0		58.60	59.60	65.40		100	8	8	
		達成度		10	0%	l		92	2%	l		10	0%	

3. 人員体制	(人)
	R4実績
正職員	4. 80
再任用	0. 20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

	7 ( )   B.C.	R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	46, 922	38, 753	38, 505		
	人   会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
出出	費 附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	46, 922	38, 753	38, 505		
	物件費計	0	1, 150, 220	1, 174, 119	2, 052, 266	57. 2%
	歳出計	454, 133	1, 188, 973	1, 212, 624		
	国庫支出金	0	2, 757	28, 371		※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債	0	968, 500	732, 000	1, 587, 000	を乗算しています。
	その他	0	0	0	U	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	971, 257	760, 371	1, 615, 371	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	454, 133	178, 963	413, 748	436, 895	す。

### 5. 総括的分析

高度浄水施設オゾン発生装置整備、高度浄水施設洗浄排水返送ポンプ2号整備、津田高区配水場緊急遮断 弁整備、中宮浄水場1系急速沈殿池2号池No.3コンセント弁整備、中宮浄水場1系1号沈澱池撹拌機整備、高 度浄水施設粒状活性炭入替整備、楠葉配水場緊急遮断弁整備、高度浄水施設洗浄排水返送ポンプ2号補修 整備、高度浄水施設オゾン設備流量計取替、春日受水場他圧力計取替、香里受水場流量計取替、氷室低区配水場流量計取替などに取り組んだ。

#### 総括的分析

田口山配水場ポンプ棟耐震補強及び設備更新他3施設設計委託に取り組んだ。

北山配水場場内配管継手補強工事に取り組んだ。 北山配水場電気計装設備更新工事に取り組んだ。

高度浄水施設オゾン接触池改修工事に取り組んだ。

中宮浄水場更新事業に引き続き取り組んだ。

津田低区配水場耐震化事業に引き続き取り組んだ。

### 6. 今後の方向性

/ // / / /		
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	配水池の計画的な耐震化に取 今後も計画的・効率的な更新・	り組むと共に、水道水の安全・安心・安定供給に欠かせない設備については、改良に取り組んで行く。

ユーバン ユーンドインベインベイン	··/_ m·· =										
事務事業名称	浄水課運営	事務									
測定年度	2022(R4)年度		部	上下水道部		課	浄水課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
	基本目	標	9.施策体系外	-							
総合計画体系	施策目	標	99.施策体系统	外							
	実行計画	<u> </u>									

1 事務事業の概要

_Ⅰ 事務事業の作	<b>沙女</b>							
種類	内部管理	特性		庶務的事務	区分	庶務	的内部管理事務	
事業期間	不明	:	年度	~			年度まで	
根拠法令等	決裁							
関係補助金名称								
関係附属機関名称								
	メインターゲット	課の職員						
事業対象	サブターゲット							
<b>学</b> 未/1/3/	ターゲットが抱える課題 適正かつ迅速な事務の執行が必要。							
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	  浄水課所管事務が円滑に執行されている状態。 							
事業概要	課の運営業務 ① 行政評価及び事業計画等に関する事務 ② 課の予算及び決算に関する事務 ③ 消耗品等、物品の契約及び整理、保管に関する事務 ④ 国、府等への連絡事務 ⑤ 局内外への照会・回答処理事務 ⑥ 車両管理事務 ⑦ 出前講座及び中宮浄水場の社会見学等、水道事業のPR事務							

	<u> </u>													
	アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)							
ロジックモラ		ックモデル												
指標設定		指標説明												
	指標種類													
設	指													
定	1示	目標 (見込み)												
	数值	実績												
		達成度												

3. 人員体制	(人)
	R4実績
正職員	2. 50
再任用	0. 50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

→ .	/\ <del>\ )+</del> 100					(     1)
		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
	正職員、再任用、任期付	15, 211	22, 242	22, 048		
	人 会計年度任用職員	0	0	0		
歳	件特別職非常勤	0	0	0		
<sup>版</sup> 出	費 附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	15, 211	22, 242	22, 048		
	物件費計	9, 118	678	917	1, 525	60. 1%
	歳出計	24, 329	22, 920	22, 965		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、
	府支出金	0	0	0	0	任期付」の人件費に ついては、人員配置
歳	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
入	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件 費に充当されるもの
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	のみを記載していま
	一般財源(物件費に充当されるもの)	9, 118	678	917	1, 525	す。

# 5. 総括的分析

総括的分析 浄水課所管事務の円滑な執行を行った。

6. 今後の万	问性	
区分	現状維持	
今後の取り組み方針	浄水課所管事務の円滑な執行	に向け、効率的な取り組みを行う。